

Lesson 2 カレーは世界中を旅する

(Part 3)

イギリスのカレーはのちに、海を航海して日本へやって来ました。明治時代初期にカレー粉が輸入され、人々は日本でカレーを作り始めました。当時、カレーは高価な料理でした。「カレーライス」1皿の値段で、人はそば8杯を買うことができたのです。また当時、カレーは少し変わっていました。驚いたことに、長ネギとカエルの肉がカレーに使われていたのです！

明治時代後期以来、カレーは日本中で一般的になっています。それは日本の軍隊がカレーを兵士用の食事として採用したからだと言う人もいます。カレーは大量に作ることができ、数日保存することもできたので、兵士たちにとって理想的な食事でした。兵士たちは故郷に戻るとき、カレーの調理法をいっしょに持って帰りました。このため、人々は日本の多くの地域でカレーを食べ始めたのです。